

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2014-503242  
(P2014-503242A)

(43) 公表日 平成26年2月13日(2014.2.13)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 1/303 (2006.01)	A 6 1 B 1/30	4 C 1 6 1
A 6 1 B 1/307 (2006.01)	A 6 1 M 25/00 3 1 4	4 C 1 6 7
A 6 1 B 1/31 (2006.01)		
A 6 1 M 25/00 (2006.01)		

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2013-540231 (P2013-540231)  
 (86) (22) 出願日 平成24年1月10日 (2012.1.10)  
 (11) 特許番号 特許第5409977号 (P5409977)  
 (45) 特許公報発行日 平成26年2月5日 (2014.2.5)  
 (85) 翻訳文提出日 平成25年5月23日 (2013.5.23)  
 (86) 国際出願番号 PCT/CN2012/070201  
 (87) 国際公開番号 W02012/100676  
 (87) 国際公開日 平成24年8月2日 (2012.8.2)  
 (31) 優先権主張番号 201110030512.9  
 (32) 優先日 平成23年1月28日 (2011.1.28)  
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)

(71) 出願人 513130294  
 周均洪  
 ZHOU, Junhong  
 中国広東省江門市蓬江区華園東路30号  
 No. 30 Huayuan East  
 Road, Pengjiang Di  
 strict Jiangmen, Gu  
 angdong 529000 (CN)  
 (74) 代理人 110001139  
 S K特許業務法人  
 (74) 代理人 100130328  
 弁理士 奥野 彰彦  
 (74) 代理人 100130672  
 弁理士 伊藤 寛之

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 組合せ式硬性尿管鏡

(57) 【要約】

本発明の組合せ式硬性尿管鏡は、硬性尿管鏡の本体（1）及び本体の管状部（11）の外に環設されている管状の鞘部（2）を含む。鞘部（2）の始端と本体の管状部（11）の間は密接されており、鞘部（2）の後端にはロック部（3）が設けられ、本体の管状部（11）と操作部（12）の間にはロック機構（13）が設けられている。ロック部（3）とロック機構（13）の係合により、本体（1）と鞘部（2）との施錠または解錠を行う。この組合せ式硬性尿管鏡を使って尿管と腎臓の検査、診断及び治療のための手術を行う場合、尿管鏡の本体（1）と鞘部（2）の間にあるロック部を緩めることで、硬性尿管鏡の本体（1）と鞘部（2）を分離し、鞘部（2）を尿管に残したまま、何回も繰り返して碎石の取り出し操作を行い、または本体（1）を単独に尿管に挿抜でき、又は軟性尿管鏡の手術通路として使えるため、手術時間を短縮し、手術の安全性を高め、軟性尿管鏡の操作が難しい問題及び容易に損耗される問題を避けることができる。

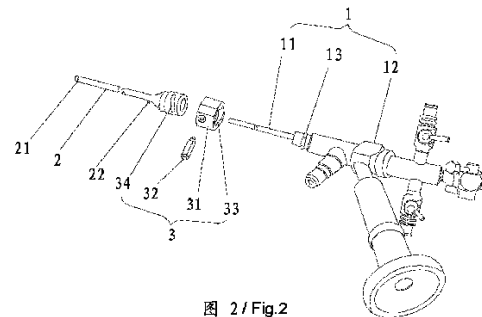


図 2 / Fig.2

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

組合せ式硬性尿管鏡であって、

硬性尿管鏡の本体（１）及び本体の管状部（１１）の外に環設されている管状の鞘部（２）を含み、

前記鞘部（２）の始端と前記本体の管状部（１１）の間は密接され、前記鞘部（２）の後端にはロック部（３）が設けられ、前記本体の管状部（１１）と本体の操作部（１２）の間にはロック機構（１３）が設けられており、

前記ロック部（３）と前記ロック機構（１３）の係合により、前記本体（１）と前記鞘部（２）との施錠または解錠を行う、

ことを特徴とする組合せ式硬性尿管鏡。

10

## 【請求項 2】

前記鞘部（２）の後端に設けられたロック部（３）は、端蓋（３３）を有するスリーブ（３１）、及びスリーブ（３１）の側壁に固定されているピン（３２）を含み、

前記鞘部（２）の後端の外壁には、前記ピン（３２）の端部が挿入されるように傾斜シュート（３４）が形成されており、

前記本体（１）のロック機構（１３）は、前記本体（１）の管壁に設けられた環状リブであり、環状リブとなる前記ロック機構（１３）は、前記スリーブ（３１）の端蓋（３３）の中に係止されるように挿入しており、

前記傾斜シュート（３４）での前記ピン（３２）の動作によって、前記鞘部（２）と前記本体（１）との施錠または解錠を行う、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

20

## 【請求項 3】

前記鞘部（２）の後端に位置する前記ロック部（３）は、前記鞘部（２）の後端に位置するボス部（３１'）に環設されているネジスリーブ（３２'）であり、

前記本体（１）のロック機構（１３）は、前記本体（１）の管壁に設けられた雄ねじであり、

雄ねじである前記ロック機構（１３）での前記ネジスリーブ（３２'）の動作によって、前記鞘部（２）と前記本体（１）との施錠または解錠を行う、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

30

## 【請求項 4】

前記鞘部（２）はテーパ管であり、前記本体の管状部（１１）の始端は前記鞘部（２）から突出し、

前記鞘部（２）の管壁と前記本体の管状部（１１）の間には隙間があって出水通路（４）が形成され、

前記鞘部（２）の先端の外壁には入水孔（２１）が形成され、前記鞘部（２）の後端には出水孔（２２）が形成されている、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 3 の何れか 1 項に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

40

## 【0001】

本発明は、医療器械に係り、特に尿管鏡に関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

尿管鏡は、尿管と腎臓の検査、診断及び治療を行う内視鏡であって、軟性尿管鏡と硬性尿管鏡という両種類を含み、その特徴によって、上尿路の異なる部位の診察治療にそれぞれ適用される。既存の尿管鏡では、検査及び碎石を行う時、碎石装置によって結石を破碎した後、その碎石を尿管鏡の管通路を通じて体外に取り出す必要がある。しかし、尿管鏡の管通路が非常に細くなっているため、若干大きい碎石であってもその管通路を通すことができなくなり、尿管鏡と一緒に体外に取り出すことしかできない。この場合、碎石を体外

50

に取り出すためには、尿管鏡を、尿道、膀胱及び尿管、更には腎臓まで挿入したり、また体外に取り出したりする操作を何回も繰り返す必要があり、手術時間を延長し、手術のリスクを増やすことになり、また、複数回に渡る挿入及び取り出し操作による患者の苦痛も増加する。一方、軟性尿管鏡を利用して、腎盂（Renalpelvis）、腎杯（RenalCalyses）と尿管上部の病気を診断、治療する場合、まず、硬性尿管鏡により尿管口を拡張してから検査し、ガイドワイヤーを挿入してから硬性尿管鏡を取り出す。次に、ホースをガイドワイヤーに沿って尿管内に挿入し、その後ガイドワイヤーを取り出す。そして、軟性尿管鏡をホースに沿って尿管上部に挿入して、腎盂及び腎杯の病気を診断、治療する。手術過程において、ホースを全行程にわたって常に可視環境で挿入することができないため、尿管損傷のリスクを増やし、操作が複雑となる。また、軟性尿管鏡は、設備が高価であり、操作が難しく、容易に損耗し、頻繁な使用することは手術の時間が長くなったりコストが高くなったりすることを招くため、普及及び展開しにくくなっている。そのため、既存の尿管鏡の構造設計は、現在の臨床治療に対する安全、有効、低廉の要求を満たしていない。

10

**【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

本発明は、上記課題を解決するための組合せ式硬性尿管鏡を提供する。

**【課題を解決するための手段】****【0004】**

本発明に係る組合せ式硬性尿管鏡は、硬性尿管鏡の本体及び本体の管状部の外に環設されている管状の鞘部を含み、前記鞘部の始端と前記本体の管状部の間は密接され、前記鞘部の後端にはロック部が設けられ、前記本体の管状部と操作部の間にはロック機構が設けられており、前記ロック部と前記ロック機構の係合により、前記本体と前記鞘部との施錠または解錠を行う。

20

**【0005】**

また、本発明の好ましい実施形態として、前記鞘部の後端に設けられたロック部は、端蓋を有するスリーブ及びこのスリーブの側壁に固定されているピンを含み、前記鞘部の後端の外壁には、前記ピンの端部が挿入されるよう、傾斜シュートが形成されており、前記本体のロック機構は、前記本体の管壁に設けられた環状リブであり、環状リブとなる前記ロック機構は、前記スリーブの端蓋の中に係止されるように挿入しており、前記傾斜シュートでの前記ピンの動作によって、前記鞘部と前記本体との施錠または解錠を行う。

30

**【0006】**

また、本発明のさらに好ましい実施形態として、前記鞘部はテーパ管であり、前記本体の管状部の始端は前記鞘部から突出し、前記鞘部の管壁と前記本体の管状部との間には隙間があることで水通路が形成され、前記鞘部の先端の外壁には入水孔が形成され、前記鞘部の後端には出水孔が形成されている。

**【発明の効果】****【0007】**

本発明によれば、以下のような技術効果を得ることができる。

つまり、本発明による組合せ式硬性尿管鏡を使って尿管と腎臓の検査、診断及び治療のための手術を行う場合、

40

A：尿管鏡の本体と鞘部の間にあるロック部を緩めることで、硬性尿管鏡の本体と鞘部を分離し、鞘部を尿管に残して、何回も繰り返して行う碎石の取り出しまたは本体を単独に尿管に挿入したり尿管から取り出したりするときの通路として使うため、手術時間を短縮し、手術の安全性を高め、患者の苦痛を軽減することができる。

B：軟性尿管鏡を利用して腎盂、腎杯と尿管上部の病気を診断、治療する場合でも、組合せ式硬性尿管鏡により尿管口を拡張して検査を行い、その後、硬性尿管鏡の鞘部を直接放置して軟性尿管鏡の進出通路とすることができ、ガイドワイヤーをホースに挿入する必要もないので、手術の手順を減らし、しかも、鞘部の放置作業は、全行程にわたって硬性尿管鏡自身の接眼レンズを直視する状態で行うため、従来のガイドワイヤー及びホースを挿

50

入ることより安全性が大幅に高くなる。

C：軟性尿管鏡を利用して手術を行う場合、一部の手術は硬性尿管鏡で代替することができ、尿管鏡の鞘部を直接に軟性尿管鏡及び硬性尿管鏡に交替して挿入しながら手術を行うことで、軟性尿管鏡及び硬性尿管鏡を上手に合わせて使うことができ、軟性尿管鏡の操作難及び容易に損耗されるという問題を避けることができ、実際的に臨床治療の安全、有効、低廉の要求を満たすことができる。

D：本発明の尿管鏡において、鞘部の管壁と本体の管状部の間には出水用の通路が形成され、また鞘部に入水口、出水口が形成されているため、洗浄液をその通路を通して流出させることができるので、既存の尿管鏡に水の出入り通路が一つしかない構成による水が連続して出入りできないという問題を克服することができる。これにより、手術過程において、洗浄液による連続洗浄が可能となり、はっきりした手術の可視域が確保できるとともに、水の出入りを交替して行うことによる手術時間の延長及び腔内圧の高すぎの問題を避けることができ、手術による尿管及び腎臓への損傷リスクを大幅に低減することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】図1は、本発明の一つの実施形態における全体構造を示す模式図である。

【図2】図2は、図1に示した構成の分解模式図である。

【図3】図3は、本発明の他の一つの実施形態における分解構造を示す模式図である。

【発明を実施するための形態】

20

【0009】

以下、図面及び実施形態によって本発明を詳細に説明する。

図1、図2に示すように、本発明による組合せ式硬性尿管鏡は、硬性尿管鏡の本体1及び本体の管状部11の外に環設されている管状の鞘部2を含み、前記鞘部2の始端と本体の管状部11の間は密接され、鞘部2の後端にはロック部3が設けられている。また、本体の管状部11と操作部12の間にはロック機構13が設けられており、ロック部3とロック機構13の係合により、本体1と鞘部2の施錠または解錠を行う。

【0010】

本実施形態において、前記鞘部2の後端に設けられたロック部3は、端蓋33を有するスリーブ31、及び当該スリーブ31の側壁に固定されているピン32を含み、管状の鞘部2の後端の外壁には、ピン32の端部が挿入されるよう、傾斜シュート34が形成されている。また、本体1のロック機構13は、本体1の管壁に設けられた環状リブであり、当該環状リブとなっているロック機構13を、スリーブ31の端蓋33の中に係止されるように挿入することができる。そして、傾斜シュート34でのピン32の動作によって、鞘部2と本体1との施錠または解錠を行う。

30

【0011】

また、図3に示すように、本実施形態において、鞘部2の後端に位置するロック部3は、鞘部2の後端に位置するボス部31'に環設されているネジスリーブ32'であり、本体1のロック機構13は、本体1の管壁に設けられた雄ねじである。そして、雄ねじとなっているロック機構13でのネジスリーブ32'の動作によって、鞘部2と本体1との施錠または解錠を行う。

40

【0012】

このような本発明による組合せ式硬性尿管鏡を使って尿管と腎臓の検査、診断及び治療のための手術を行う場合、尿管鏡の本体と鞘部の間にあるロック部を緩めることで、硬性尿管鏡の本体と鞘部を分離させ、鞘部を尿管に残して、何回も繰り返して行う碎石の取り出すことが可能になり、また、本体を単独に尿管に挿入したり尿管から取り出したりするときの通路として使うことができるため、手術時間を短縮し、手術の安全性を高め、患者の苦痛を軽減することができる。また、軟性尿管鏡を利用して腎盂、腎杯と尿管上部の病気を診断、治療する場合でも、本発明による組合せ式硬性尿管鏡により尿管口を拡張して検査を行い、その後、硬性尿管鏡の鞘部を直接放置して軟性尿管鏡の進出通路とすることが

50

でき、ガイドワイヤーをホースに挿入する必要もないので、手術の手順を減らし、しかも、鞘部の放置作業は、全行程にわたって硬性尿管鏡自身の接眼レンズを直視する状態で行うため、従来のガイドワイヤー及びホースを挿入する場合に比べ安全性が大幅に高くなる。

【 0 0 1 3 】

また、軟性尿管鏡を利用して手術を行う場合、一部の手術は硬性尿管鏡で代替することができ、尿管鏡の鞘部を直接に軟性尿管鏡及び硬性尿管鏡に交替して挿入しながら手術を行うことで、軟性尿管鏡及び硬性尿管鏡を上手に組み合わせることができる。例えば、軟性尿管鏡で腎杯部位の結石を破碎するとき、一部の碎石が腎盂に移動する可能性もあるが、この場合、従来では引き続き軟性尿管鏡を使って、碎石を取り出すかまたは結石を破碎することしかできなかつたものの、軟性尿管鏡で碎石を取り出す操作をするには、難度が高く、破碎効率が低く、時間消耗が長くなるという問題があるため、いずれも手術時間が長くなり、手術リスクが高くなる恐れがあった。しかし、この場合、本発明による組合せ式硬性尿管鏡を使うと、硬性尿管鏡の鞘部を直接に軟性尿管鏡及び硬性尿管鏡に交替して挿入して操作することができるので、碎石の取り出し作業が便利になり、結石を迅速に破碎することで、手術時間を大幅に短縮させ、軟性尿管鏡の使用を減らすため、軟性尿管鏡の操作が難しく容易に損耗されるという問題を避けることができ、実際的に臨床治療の安全、有効、低廉の要求を満たすことができる。

10

【 0 0 1 4 】

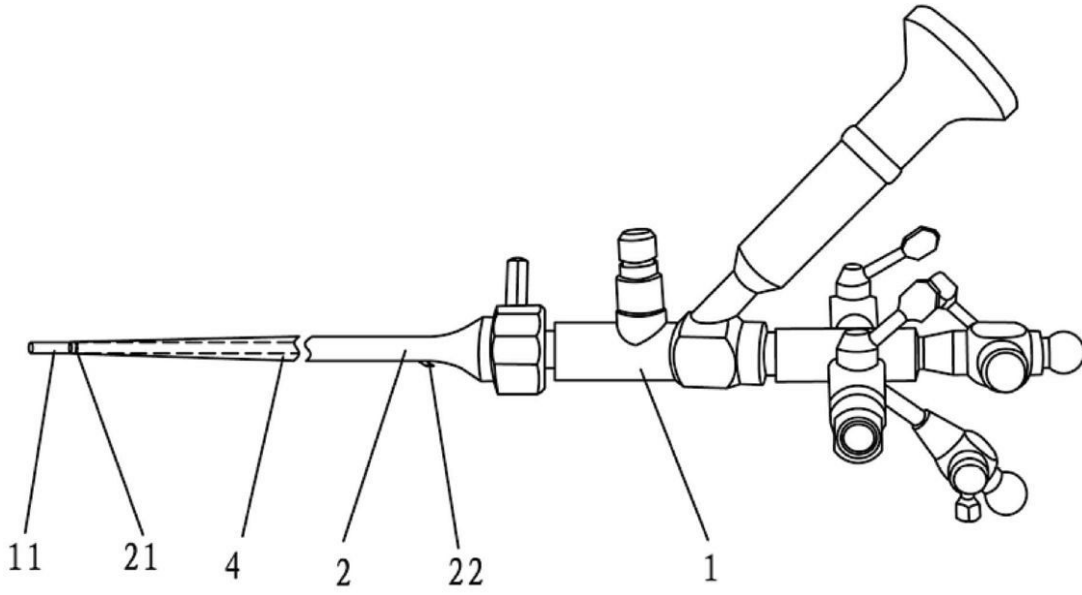
また、本発明のさらなる改良として、図 1、図 2 に示すように、管状の鞘部 2 はテーパ管であり、本体の管状部 1 1 の始端は鞘部 2 の外に突出しており、鞘部 2 の管壁と本体の管状部 1 1 との間には隙間があって水通路 ( 4 ) を形成している。また、鞘部 2 の先端の外壁には入水孔 2 1 が形成され、鞘部 2 の後端には出水孔 2 2 が形成されている。このように、鞘部 2 に水の出入り通路を設けるような改良案は、既存の尿管鏡に水の出入り通路が一つしかない構成による水が連続して出入りできないという問題を克服することができる。これにより、手術過程において、洗浄液による連続洗浄が可能になり、はっきりした手術の可視域が確保できるとともに、水の出入りを交替して行うことに伴う手術時間の延長及び高腔内圧問題を避けることができ、手術による尿管及び腎臓への損傷リスクを大幅に低減することができる。

20

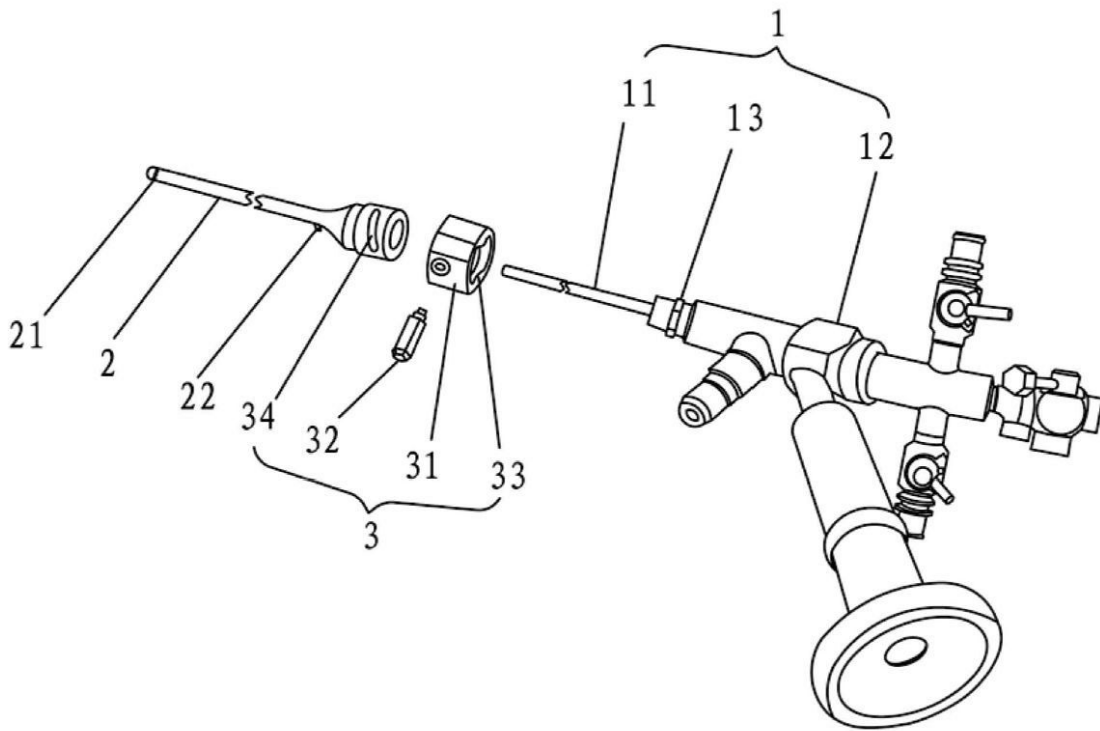
以上のように、本発明は、尿管と腎臓の検査、診断及び治療を目的とした手術に幅広く適用される。

30

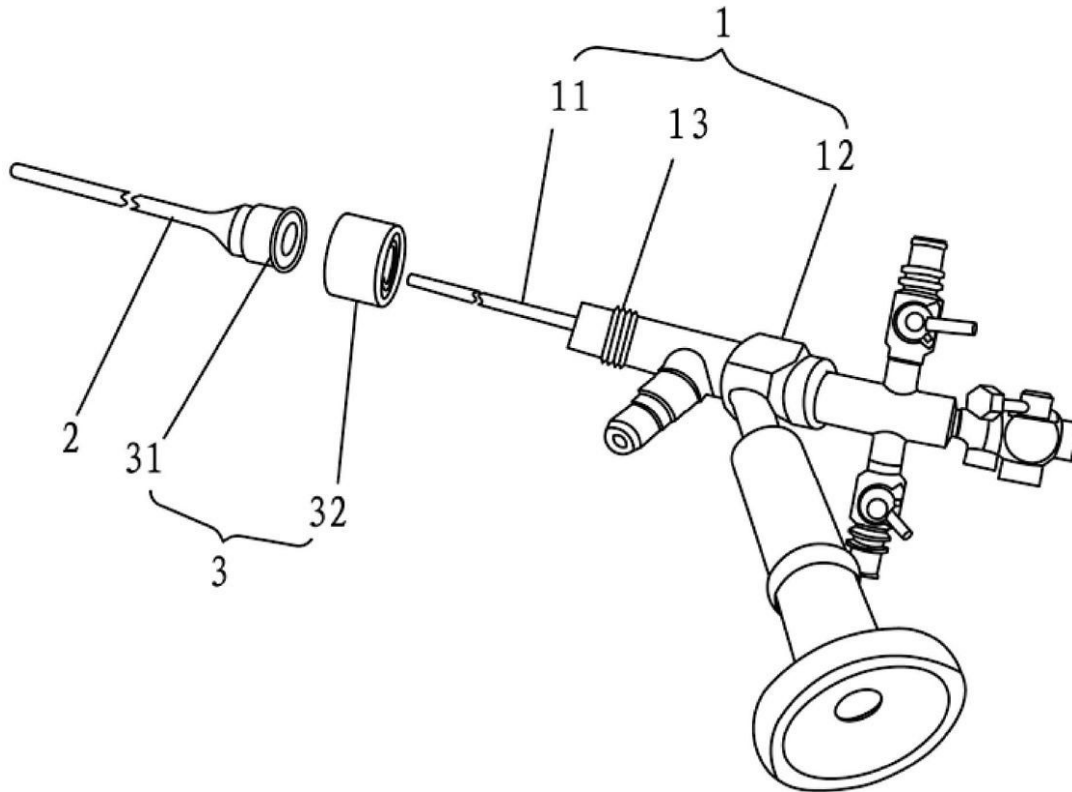
【 図 1 】



【 図 2 】



【図 3】



## 【手続補正書】

【提出日】平成25年6月6日(2013.6.6)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組合せ式硬性尿管鏡であって、

硬性尿管鏡の本体(1)及び本体の管状部(11)の外に環設されている管状の鞘部(2)を含み、

前記鞘部(2)の始端と前記本体の管状部(11)の間は密接され、前記鞘部(2)の後端にはロック部(3)が設けられ、前記本体の管状部(11)と本体の操作部(12)の間にはロック機構(13)が設けられており、

前記ロック部(3)と前記ロック機構(13)の係合により、前記本体(1)と前記鞘部(2)との施錠または解錠を行う、

ことを特徴とする組合せ式硬性尿管鏡。

【請求項 2】

前記鞘部(2)の後端に設けられたロック部(3)は、端蓋(33)を有するスリーブ(31)、及びスリーブ(31)の側壁に固定されているピン(32)を含み、

前記鞘部(2)の後端の外壁には、前記ピン(32)の端部が挿入されるように傾斜シュート(34)が形成されており、

前記本体(1)のロック機構(13)は、前記本体(1)の管壁に設けられた環状リブであり、環状リブは、前記スリーブ(31)の端蓋(33)の中に係止されるように挿入しており、

前記傾斜シュート(34)での前記ピン(32)の動作によって、前記鞘部(2)と前記

本体（１）との施錠または解錠を行う、  
ことを特徴とする請求項１に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

【請求項３】

前記鞘部（２）の後端に位置する前記ロック部（３）は、前記鞘部（２）の後端に位置するボス部（３１）に環設されているネジスリーブ（３２）であり、  
前記本体（１）のロック機構（１３）は、前記本体（１）の管壁に設けられた雄ねじであり、

雄ねじでの前記ネジスリーブ（３２）の動作によって、前記鞘部（２）と前記本体（１）との施錠または解錠を行う、

ことを特徴とする請求項１に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

【請求項４】

前記鞘部（２）はテーパ管であり、前記本体の管状部（１１）の始端は前記鞘部（２）から突出し、

前記鞘部（２）の管壁と前記本体の管状部（１１）の間には隙間があって出水通路（４）が形成され、

前記鞘部（２）の先端の外壁には入水孔（２１）が形成され、前記鞘部（２）の後端には出水孔（２２）が形成されている、

ことを特徴とする請求項１～請求項３の何れか１項に記載の組合せ式硬性尿管鏡。

## 【 国际调查报告 】

<b>INTERNATIONAL SEARCH REPORT</b>		International application No. <b>PCT/CN2012/070201</b>
<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b>		
See the extra sheet		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b>		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)		
IPC: A61B 1 A61B 17		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
CNABS, CNTXT, SIPOABS, DWPI: ureteroscope, endoscopic sheath, ureter?, endoscope+, lock+, secur+, pin+, slot+		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
PX	CN 102068232 A (ZHOU, Junhong), 25 May 2011 (25.05.2011), claims 1-4, and figures 1-3	1-4
PX	CN 201929938 U (ZHOU, Junhong), 17 August 2011 (17.08.2011), claims 1-4, and figures 1-3	1-4
X	CN 101606852 A (GUANGZHOU BAODAN MEDICAL INSTRUMENT TECHNOLOGY CO., LTD.), 23 December 2009 (23.12.2009), description, page 3, line 6 to page 4, line 13, claims 1-3, and figures 1 and 4	1
A	CN 101879056 A (SHANGHAI KINDBEST MEDICAL TECHNOLOGY CO., LTD.), 10 November 2010 (10.11.2010), the whole document	1-4
A	US 4550715 A (CODMAN & SHURTLEFF, INC.), 05 November 1985 (05.11.1985), the whole document	1-4
A	EP 0159033 A2 (CODMAN & SHURTLEFF, INC.), 23 October 1985 (23.10.1985), the whole document	1-4
A	US 2584619 A (NAT ELECTRIC INSTR CO INC.), 05 February 1952 (05.02.1952), the whole document	1-4
A	DE 4440546 A1 (MAHOG AG), 15 May 1996 (15.05.1996), the whole document	1-4
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family	
Date of the actual completion of the international search 21 March 2012 (21.03.2012)	Date of mailing of the international search report <b>05 April 2012 (05.04.2012)</b>	
Name and mailing address of the ISA/CN: State Intellectual Property Office of the P. R. China No. 6, Xitucheng Road, Jimenqiao Haidian District, Beijing 100088, China Facsimile No.: (86-10) 62019451	Authorized officer  <b>YAN, Tao</b> Telephone No.: (86-10) 62085665	

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**  
Information on patent family members

International application No.

**PCT/CN2012/070201**

Patent Documents referred in the Report	Publication Date	Patent Family	Publication Date
CN 102068232 A	25.05.2011	None	
CN 201929938 U	17.08.2011	None	
CN 101606852 A	23.12.2009	CN 101606852 B	06.04.2011
CN 101879056 A	10.11.2010	None	
US 4550715 A	05.11.1985	None	
EP 0159033 A2	23.10.1985	DE 3582264 G	02.05.1991
		ES 8605150 A1	16.08.1986
		EP 0159033 B1	27.03.1991
		US 4610242 A	09.09.1986
		JP 60249930 A	10.12.1985
		JP 4067444 B	28.10.1992
		JP 1904220 C	08.02.1995
US 2584619 A	05.02.1952	None	
DE 4440546 A1	15.05.1996	None	

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

**PCT/CN2012/070201**

**A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**

A61B 1/307 (2006.01) i

A61B 1/012 (2006.01) i

A61B 17/22 (2006.01) i

A61B 17/94 (2006.01) i

国际检索报告		国际申请号 PCT/CN2012/070201
<b>A. 主题的分类</b>		
参见附加页		
按照国际专利分类(IPC)或者同时按照国家分类和 IPC 两种分类		
<b>B. 检索领域</b>		
检索的最低限度文献(标明分类系统和分类号)		
IPC: A61B 1 A61B 17		
包含在检索领域中的除最低限度文献以外的检索文献		
在国际检索时查阅的电子数据库(数据库的名称, 和使用的检索词(如使用))		
CNABS, CNTXT, SIPOABS, DWPI 输尿管镜, 内窥镜, 镜鞘, 锁, ureter?, endoscope+, lock+, secur+, pin+, slot+		
<b>C. 相关文件</b>		
类 型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求
PX	CN102068232 A (周均洪), 25.5 月 2011 (25.05.2011), 权利要求 1-4, 附图 1-3。	1-4
PX	CN201929938 U (周均洪), 17.8 月 2011 (17.08.2011), 权利要求 1-4, 附图 1-3。	1-4
X	CN101606852 A (广州宝胆医疗器械科技有限公司), 23.12 月 2009 (23.12.2009), 说明书第 3 页第 6 行至第 4 页第 13 行, 权利要求 1-3, 附图 1、4。	1
A	CN101879056 A (上海祥秀医药科技有限公司), 10.11 月 2010 (10.11.2010), 全文。	1-4
A	US4550715 A (Codman & shurtleff, Inc), 05.11 月 1985 (05.11.1985), 全文。	1-4
A	EP0159033 A2 (Codman & shurtleff, Inc), 23.10 月 1985 (23.10.1985), 全文。	1-4
A	US2584619 A (NAT ELECTRIC INSTR CO INC), 05.02 月 1952 (05.02.1952), 全文。	1-4
A	DE4440546 A1 (MAHOG AG), 15.5 月 1996 (15.05.1996), 全文。	1-4
<input type="checkbox"/> 其余文件在 C 栏的续页中列出。 <input checked="" type="checkbox"/> 见同族专利附件。		
* 引用文件的具体类型:		“T” 在申请日或优先权日之后公布, 与申请不相抵触, 但为了理解发明之理论或原理的在后文件
“A” 认为不特别相关的表示了现有技术一般状态的文件		“X” 特别相关的文件, 单独考虑该文件, 认定要求保护的发明不是新颖的或不具有创造性
“E” 在国际申请日的当天或之后公布的在先申请或专利		“Y” 特别相关的文件, 当该文件与另一篇或者多篇该类文件结合并且这种结合对于本领域技术人员为显而易见时, 要求保护的发明不具有创造性
“L” 可能对优先权要求构成怀疑的文件, 或为确定另一篇引用文件的公布日而引用的或者因其他特殊理由而引用的文件(如具体说明的)		“&” 同族专利的文件
“O” 涉及口头公开、使用、展览或其他方式公开的文件		
“P” 公布日先于国际申请日但迟于所要求的优先权日的文件		
国际检索实际完成的日期 21.3 月 2012 (21.03.2012)	国际检索报告邮寄日期 05.4 月 2012 (05.04.2012)	
ISA/CN 的名称和邮寄地址: 中华人民共和国国家知识产权局 中国北京市海淀区蓟门桥西土城路 6 号 100088 传真号: (86-10)62019451	受权官员  颜涛  电话号码: (86-10) 62085665	

国际检索报告  
关于同族专利的信息

国际申请号  
PCT/CN2012/070201

检索报告中引用的 专利文件	公布日期	同族专利	公布日期
CN102068232 A	25.05.2011	无	
CN201929938 U	17.08.2011	无	
CN101606852 A	23.12.2009	CN101606852 B	06.04.2011
CN101879056 A	10.11.2010	无	
US4550715 A	05.11.1985	无	
EP0159033 A2	23.10.1985	DE3582264 G	02.05.1991
		ES8605150 A1	16.08.1986
		EP0159033 B1	27.03.1991
		US4610242 A	09.09.1986
		JP60249930 A	10.12.1985
		JP4067444 B	28.10.1992
		JP1904220 C	08.02.1995
US2584619 A	05.02.1952	无	
DE4440546 A1	15.05.1996	无	

国际检索报告

国际申请号  
**PCT/CN2012/070201**

A. 主题的分类

A61B 1/307 (2006.01) i

A61B 1/012 (2006.01) i

A61B 17/22 (2006.01) i

A61B 17/94 (2006.01) i

## フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, T  
J, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, R  
O, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,  
BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, H  
U, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI  
, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,  
UZ, VC, VN

(72)発明者 周均洪

中国広東省江門市蓬江区華園東路30号

Fターム(参考) 4C161 AA15 BB02 CC01 DD01 FF12 FF23 FF30 FF35 JJ06

4C167 AA03 BB02 BB03 BB10 BB11 BB19 BB20 BB39 BB40 CC26

HH08 HH22

专利名称(译)	组合式硬性尿管镜		
公开(公告)号	<a href="#">JP2014503242A</a>	公开(公告)日	2014-02-13
申请号	JP2013540231	申请日	2012-01-10
[标]申请(专利权)人(译)	周均洪 周军红		
申请(专利权)人(译)	周均洪		
[标]发明人	周均洪		
发明人	周均洪		
IPC分类号	A61B1/303 A61B1/307 A61B1/31 A61M25/00		
CPC分类号	A61B1/00105 A61B1/00135 A61B1/015 A61B1/307 A61B17/3421 A61B2017/00477 A61B2017/345 A61B1/00078		
FI分类号	A61B1/30 A61M25/00.314		
F-TERM分类号	4C161/AA15 4C161/BB02 4C161/CC01 4C161/DD01 4C161/FF12 4C161/FF23 4C161/FF30 4C161/FF35 4C161/JJ06 4C167/AA03 4C167/BB02 4C167/BB03 4C167/BB10 4C167/BB11 4C167/BB19 4C167/BB20 4C167/BB39 4C167/BB40 4C167/CC26 4C167/HH08 4C167/HH22		
代理人(译)	伊藤裕之		
优先权	201110030512.9 2011-01-28 CN		
其他公开文献	JP5409977B1		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

摘要(译)

本发明公开了一种组合式硬性输尿管镜，其包括硬性输尿管镜主体和向外安装在输尿管镜主体的管状部分上的管状护套。护套的起始端与输尿管镜主体的管状部分紧密接合。锁定机构设置在护套的后端。锁定部分设置在输尿管镜主体的管状部分和输尿管镜主体的操作部分之间。锁定机构与锁定部件配合以锁定或解锁刚性输尿管镜主体和管状护套。本发明采用输尿管和肾脏的检查，诊断和治疗手术，节省手术操作，缩短手术时间，提高手术安全性，避免操作困难，易损伤输尿管镜，安全，有效，安全，有效。临床治疗费用低。

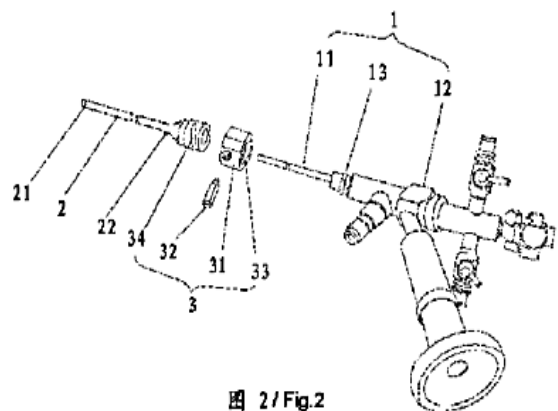


图 2/ Fig.2